

産業廃棄物のゼロエミッションに向けた取り組みは、ADEKA 全社として 2010 年度に、最終埋め立て量を外部委託量の 1%未満にすべく、埋め立て量の削減を進めています。最終埋め立て量の外部委託量に対する比率（ゼロエミ比率）は 2007 年度で 3.2%となり、前年度に比較し 0.3%の増加となりました。埋め立て量自体は減っていますが、外部委託量も減少したために比率としては上昇しました。埋め立て量削減に向けた活動を展開し、2010 年度にゼロエミッション達成を目指します。

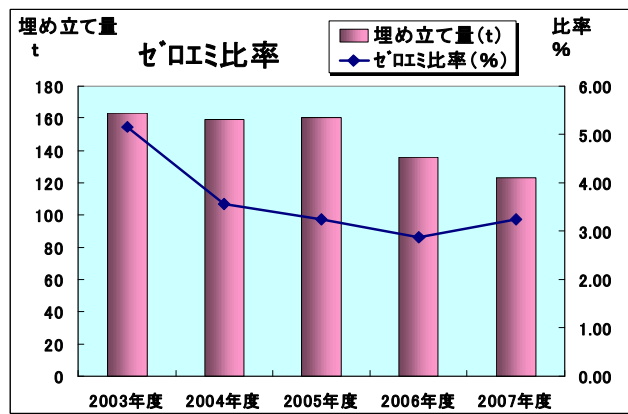


図-8 ゼロエミ比率

6. 安全衛生活動

(1) 労働安全衛生方針

三重工場労働安全衛生方針

<理念>
 (株) ADEKA 三重工場は、社会の一員として労働安全衛生が工場活動の基盤であることを認識し、安全で快適な職場作りを推進すると共に、社会に安心と信頼を与える工場作りを目指します。

<方針>

- 法規制の遵守
労働安全衛生に関する法令・協定および当工場が同意した要求事項ならびに社内基準を遵守します。
- 安全・健康の確保
取り扱い物質および設備の性質を把握し、取り扱い方法・設備の適正な管理を実施し、傷害及び疾病を予防します。適正な目標を定め、作業環境並びに労働安全衛生パフォーマンスの継続的改善に取り組みます。
- 労働安全衛生意識の高揚
教育・啓蒙活動を通じて、従業員一人一人が労働安全衛生意識を向上させ、自主管理の徹底に取り組みます。労働安全衛生目標を設定し、目標を実行するための方向性を示します。
- 対外連携の促進
地域社会の一員としての自覚を持ち、積極的な情報公開で意思疎通の充実を図り、社会に安心と信頼を与える工場作りに努めます。

2008年 4月 1日

株式会社 ADEKA 三重工場長 古川 豊

(2) 労働安全衛生活動目標

目標

1. 労働安全・保安防災の先取管理の強化

- ① 非常作業のリスクアセスメントと対策の実行
- ② 安全協力会活動の工場内の履行徹底と物流事故の防止
- ③ リスクアセスメントによる災害再発防止対策の有効性の確認と確実な実施
- ④ 若年者層への体験学習教育と緊急措置訓練実施
- ⑤ 緊急時の保安体制の確保
- ⑥ 安全保安技術の継承

2. 継続的管理目標

① ヒヤリハット報告	500件以上	② STOP-MIE	150件以上
③ 危険予知	1500件以上		
④ 安全提案	500件以上	(内、安全改善)	400件以上
⑤ 安全ワンポイント	200件以上		

(3) 安全衛生管理推進組織と体制

安全衛生管理は、労使で構成する安全衛生委員会および安全管理責任者を長とする安全管理委員会の両輪で推進しています。構内常駐協力会社も安全管理委員会の構成員として足並みを揃えた活動を行っています。

(4) 安全衛生教育

労働安全衛生マネジメントシステムでは、工場のすべての部門及び階層の役割、責任、権限について明確に規定しています。この役割、責任、権限を遂行するために全ての従業員に労働安全衛生マネジメントシステムの周知と自覚の徹底を図り、必要な資格等の取得を進めています。その方策として、各部署で教育・訓練計画を作成し、それに則り教育・訓練を行っています。

(5) 安全衛生活動の成果

1) 2007年度の安全活動

【なぜなぜ分析】

三重工場では従来からヒヤリハット活動を展開し、災害発生防止に努めてきました。2007年度はヒヤリハット活動において、工場内で回覧するBランクのヒヤリハットに関する「なぜなぜ分析」による解析手法を取り入れました。真の原因追求による対策立案の手法をヒヤリハットまで広げたことが、災害防止に役立っています。

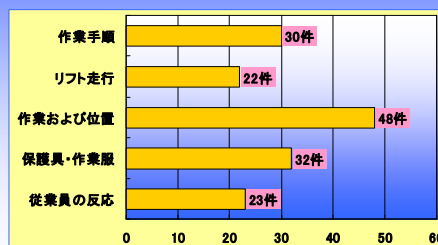
【STOP-MIE 活動】

STOP-MIE は三重工場独自の安全活動で、デュポン社の開発したシステムを当工場のレベルにアレンジした活動です。

- 視覚だけでなく停止して五感で観察。不安全行動を見つけたときはその場で是正。
- 不安全行動を取った理由を聴取。不安全行動によりどのような災害を引き起こすかを説明し理解させる。

STOP-MIE 2007年上期

目的:潜在的な危険の洗い出しを行い、不安全行動を是正し安全行動パターンに変えていく事を目的とする。



「現場」に出て、「現物」を見て、「現実」に接する → 「三現主義」

2) 安全成績

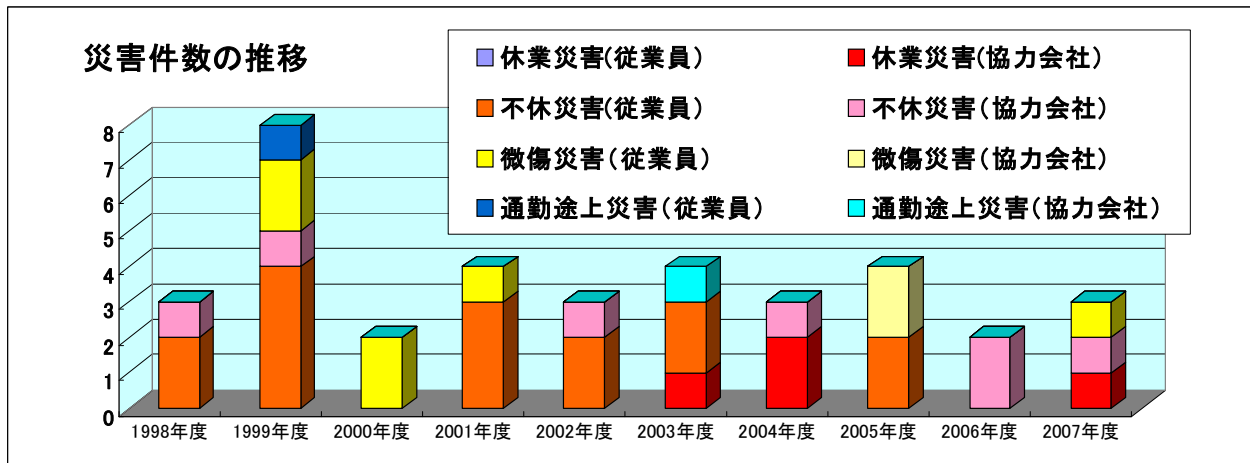


図-9 災害件数の推移

2007年度は災害ゼロの目標に対し、休業・不休・微傷災害が各1件発生しました。この災害はいずれも工程運転中の重大な災害ではなく、極軽微なものでしたが、災害発生の数自体は減っておらず、その後の再発防止に万全を期して安全活動を展開しています。

(6) 保安活動

【緊急事態への対応】

地震などの天災による、不慮の事故の発生に対して、企業は緊急時の手段を明確にしておかなければなりません。私達三重工場も当然のことながら、緊急時の対処について、基準、標準等に規定して対策をしています。火災やガス洩れなどの緊急事態に対しては、初期段階で検知し警報を発するシステムを備えています。

さらに、発生部署での初期緊急対処の体制と、工場全体での緊急時のために組織された保安出動隊が出動する体制を敷いています。

初期緊急対処と保安出動隊の要員は消防操法救急救命等、十分に訓練され、経験のある従業員で構成されています。

2007年度はオキシラン化学の事故後の操業再開にあたり、地震発生を想定した総合防災訓練を桑名消防本部（東員分署）と合同で実施しました。



7. 物流環境安全活動

生産活動での環境・安全活動と同様に物流部門でも環境・安全活動に取り組んでいます。運送会社の協力を得てアイドリングストップ活動に取り組み、環境保全に努めています。当工場の製品の多くは消防法の危険物に当ることから、万が一の輸送中の事故に備え携行しているイエローカードに基づく通報訓練を定期的に工場と運送会社が連携して行っています。

また、製品を安全にお客様の元へお届けするには、交通事故の防止にも努めることも重要で、運送会社単位で自動車事故対策センターの適性診断を受けるなど、交通事故防止にも取り組んでいます。

アイドリング STOP!

環境保全活動を実施しています。
次の事項を守って、環境保全活動にご協力をお願いします。

- ◎入門手続き後は、速やかに荷降ろし場所へ移動願います。
- ◎移動の際は、空ふかし・急発進・急ブレーキを避けて下さい。
- ◎荷降ろし場所へ着いたら速やかにエンジンを停止願います。



株式会社 ADEKA
三重工場 製造管理課
ADEKA 物流株式会社